

本学富士吉田キャンパスがある山梨県富士吉田市。その交通の表玄関と言えるのが富士急行富士山駅です。学生や教職員も折にふれて利用するこの駅、岳麓の町にふさわしい駅名ですが、これまで長年にわたって親しまれてきた富士吉田駅という名称は昨年（平成23年）7月1日をもって過去のものとなり、あらたに富士山駅としてリニューアルスタートしました。地元関係者のみならず、多くの鉄道ファンもまたこの新たな一歩を見とどけんと訪れ、当日の駅舎はおおいに賑わいました。



新規開業にともない、駅前には立派な鳥居が建造され、富士登山玄関口としての誇らしさだけよう佇まいとなりました。ホームの柱やベンチ、屋根は白木となり、和の雰囲気にあふれています。

富士山駅の特徴のひとつはスイッチバック構造であること。起点と終点である大月駅ならびに河口湖駅から到着した列車はこの富士山駅で方向転換し、先頭と最後尾とを逆転させて駅をあとにします。実は大月・富士吉田駅間で開業した富士山麓電気鉄道（現・富士急行）は、かつて、富士吉田を越えて御殿場まで路線を延長する計画がありました。その後、この計画は流れ、追加開業した河口湖線の終着駅である河口湖駅が進行方向と正反対の位置にあることから、当駅で前後を逆転させるスイッチバック式となりました。



富士急行の現在の目玉は「富士登山電車」（開業80周年の平成21年運行開始）。チョコレート色の美しい外観をもつこの車両は各種の設備を備えた観光電車（要予約）。四季の変化に富んだ沿線風景を快走するこの車両の姿は、富士急行の顔として多くの観光客の思い出作りにひと役買っています。

「文学」担当 田中周一

### 《富士急行線富士山駅 略年譜》

- 1929年（昭和4年）6月19日  
富士急行の前身である「富士山麓電気鉄道」の終着駅として「富士吉田駅」開業
- 1950年（昭和25年）8月24日  
河口湖線（富士吉田～河口湖）開業に伴い、現在のスイッチバック式の駅となる
- 1960年（昭和35年）5月25日  
「富士急行」へ社名を変更、「富士急行 富士吉田駅」となる
- 2011年（平成23年）7月1日  
「富士山駅」へ名称変更、駅舎をリニューアル



## 国際交流プログラム

昭和大学では、国際的な視野を持った医療人を育てることを目指しています。そのために各キャンパス・学部とも海外研修・実習の企画及び実施に力を入れています。新入生のみなさん、この機会を大いに利用し見聞を広めてください。

- ・1年次夏期研修（ポートランド州立大学サマープログラム）（アメリカ）  
【募集説明会】4月下旬 富士吉田キャンパス  
【日程】7月下旬～8月中旬（約1ヶ月間）  
【対象】各学部1年  
【人数】25名程度
  - ・JCCサマープログラム（ニューヨーク州ジェームスタウン）（アメリカ）  
【募集説明会】6月  
【日程】7月下旬～8月上旬（3～4週間）  
【対象】各学部1～5年  
【人数】10名程度
- ※上記以外にも学部毎、学年毎に様々な国際交流プログラムが組まれています。ホームページに詳細な掲載があります。希望するプログラムの募集説明会予定に注意してください。
- お問い合わせ：国際交流センター  
TEL 03-3784-8266 <http://www.showa-u.ac.jp>



### 編集後記

昨年12月末に学生が完全退寮となってから三ヶ月以上閑散としていた富士吉田校舎も新年度の学生を迎え、ようやく活気を取り戻すこととなりました。季節としても、新入生の皆さんが入寮し落ち着いた頃に富士吉田キャンパス内外の桜が咲き始める、散策にちょうど良い時期です。初めて富士吉田の地で生活することとなる新入生のみなさんは様々な不安を抱えていることと思いますが、この『白樺・百合』（第15号）が富士吉田での一年の流れを把握する一助となれば幸いです。

次回、第16号の発行は7月に予定しております。今後とも『白樺・百合』をよろしく願っています。

編集委員 高田中成

# 白樺百合

昭和大学  
富士吉田キャンパスだより  
第15号 2012.4.9発行

発行責任者 富士吉田教育部長 小出良平  
編集責任者 富士吉田教育部広報委員長 倉田知光  
〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田 4562  
TEL 0555-22-4403



富士吉田教育部 刑部慶太郎 撮影

### 新入生の諸君へ

昭和大学学長 片桐 敬

ここ昭和大学富士吉田キャンパスに本年も新入生の皆さんをお迎えし、すばらしい一年間を過ごしていただけるように、職員一同、精一杯の歓迎を申し上げます。誇り高き昭和大学学生として、将来の医療人になることを目指して、希望と期待に満ちた大学生活が開始されます。

昨年三月十一日の東日本大地震から一年余が経過いたしました。被災地の復興には長い道のりがかかりますが、被災された方々の一日も早い復興と安寧を祈ります。

本学は初年次教育を、富士吉田キャンパスで全寮制のもと、四学部の壁を越えて行うというユニークな教育を行っており、全国的にもその内容は高く評価されています。四人一部屋の全寮制生活は同じ部屋で他の学部の人と共に過ごすというものであり、単なる住居ではなく、医療人を目指す立場の違う学生が、お互いの考えを理解し、将来、チーム医療を行っていくためのコミュニケーション能力を学習する社会学習の場でもあります。この制度は本年で四十八年目となり、多くの先輩方の思い深いものとなっております。ここで他人を思いやる心を学んでいただきたい。寮生活は、初めての方も多く、最初は不安が多いと思いますが、心配はいりません。一週間もすれば、すぐに慣れて生涯の親友ができる経験を多くの先輩方が持っておられます。

本学のモットーは「至誠一貫」であります。学祖上條秀介先生が唱えられたこの言葉は、何事も真心を込めて精一杯尽くすという意味であり、本学はこの言葉のもとで八十四年間を経過しました。この四文字を深く心に刻んでください。

本学に入学して、受験勉強の苦しみから解放された気持ちから心がゆるまないように、早速勉学に励んでください。医療人になるためには、深い教養とともに人を愛する心、優れた人格を持つことが要求されます。専門的なことを含めて学習することは山ほどあります。また、霊峰富士のもと、白樺や赤松の林に囲まれたすばらしい緑の環境で、各種のクラブ活動が盛んです。クラブ活動にも大いに精を出してください。私たち職員一同も楽しい学習の場となるようにいろいろと工夫をいたします。この一年間が皆さんの輝かしい将来の第一歩となることを祈念しております。

### 平成24年度新入生の皆さん！ ようこそ富士吉田キャンパスへ

富士吉田教育部長 小出良平

寒かった冬もあけ、待ち遠しかった春が、富士吉田キャンパスに今年も一年生の諸君と共にやってきました。教職員一同、諸君を心より歓迎致します。将来、医療人となることを目指している諸君は第一学年をこの地で過ごします。この一年はその方向性を確認するためにも大変重要な一年となります。

初年次は、四人一部屋での全寮生活で、学部混合で過ごします。この寮は単なる生活する住居ではなく、医療人を目指す学生が、お互いの考えを理解し、将来チーム医療を行っていくためのコミュニケーション能力を学習する学び舎でもあります。この全寮制は48年におよぶ伝統をもち、私もこの寮の3期生で、女子学生も富士吉田で過ごようになった最初の学年でした。私は、今年4月より大学病院から富士吉田キャンパスに赴任しました。昨年の昭和大学病院の目標の一つは、5Sの徹底でした。5Sとは、整理、整頓、清掃、清潔、躰です。病院では、質の高い医療の提供だけでなく、医療事故や院内感染の防止のために5Sを励行しています。そこで、今年の富士吉田キャンパスの目標として、この5Sを掲げたいと思います。是非、医療人の素養を身につけられるように協力してください。

この富士吉田キャンパスの整備には、多くの卒業生が後輩のために御寄附してくださったお金を使わせていただいています。次年度生活する諸君の後輩のために、施設、備品は大切に使うてください。また、今年より新しい施設として、昭和大学富士吉田自然教育園を創りました。四季の草花や作物を育てて収穫したり、ログハウスの組み立て等を計画しています。

その他、クラブ活動も大変盛んです。医療系の大学は講義や実習で毎日忙しいですが、クラブ活動を通して学べることは沢山あります。諸君には、必ず一つは参加することを勧めます。それでは、これから思い深い一年間を過ごしてください。

#### 広報誌名称について

全寮制を特徴とする富士吉田校舎学生寮は「白樺寮（男子寮）」「百合寮（女子寮）」の二寮からスタートしました。「赤松寮」「すみれ寮」を加えて四寮となった現在も、白樺・百合という名称は受け継がれています。この名を冠した「白樺・百合」という広報誌の名称には、過去・現在・未来の学生たちが日ごとに成長をとけて前進しつつも、常に初心を忘れず、伝統を受け継いでくれることへの願いが込められています。

大学では学生の国際交流を推進するため、海外実習・研修補助制度を設けて積極的に支援しています。

## 富士吉田での寮生活

医学部 香月姿乃 (東洋英和女学院高等学校出身)

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

富士吉田での寮生活は私にとって充実した日々の連続でした。私は1年間を通して様々な物事を得ることができました。その中でもルームメイト、通称部屋メンは何でも話し合える大切な存在です。入学したその日から寝食を共にすることで、友達以上家族未満という深い関係を築くことができました。寮ではいつも誰かの話し声、笑い声が聞こえていたので、退寮直後は家の中がとて静かに感じました。話したい、会いたいと思えばすぐに友達に会えるという環境は本当に素晴らしいものでした。

富士吉田では学部などの壁を感じることもなく、多くの人と自然に友達になることができます。寮祭やクリスマスパーティーなどの行事に積極的に参加することで人間関係がどんどん広がりました。私は寮祭でもクリスマスパーティーでも実行委員会の装飾部門に参加しました。行事直前は門限の直前まで友達と作業したりと楽しい思い出ばかりです。週末は寮で休息を取るのも良いですが、新しくできた友達とキャンパスの近くの飲食店や富士山駅、河口湖に遊びに行くのもおすすめです。

寮祭をはじめとする多くの行事はもちろんのこと、試験直前に友達とラウンジで必死に勉強したことも、門限やお風呂の時間を気にしたことなどは貴重な思い出の一つです。寮生活はあっという間に終わってしまいます。今までと大きく異なる環境の中で、ぜひいろいろな物事に積極的に取り組んで、吉田での毎日を楽しんでください。



入寮風景



新入生歓迎会



誕生日パーティー



夏

夏休み  
8月



オープンキャンパス



初年次体験実習

帰寮/初年次 体験実習  
9月 10月 11月

入学式/入寮式 4月  
オリエンテーリング 5月  
寮祭/体育祭 6月  
前期定期試験/退寮 7月



オリエンテーリング



寮祭・体育祭



## 火祭り

夏休みが終わってすぐ、富士吉田の火祭りがありました。有名なお祭りに行く約束をし、とても楽しみにしていました。会場が近づいてくるとハッとした。昭和大学の松明の点火した後は皆でたくる松明は迫力があり、で、会場まで行くのも金鳥居から上る道に、力強く輝き、見ている帰り道は、傘をさして話したり、皆で写真を撮ったり、露店でヨーヨーをしたり、お土産を買ったり、とても楽しい思い出になりました。

富士吉田では、学校外にもたくさん楽しいところがあります。火祭りにも、ぜひ行ってみてください。

理学療法学科 堀江芽伊 (翔陽高等学校出身)  
く、富士吉田の火祭りがありました。有名なお祭りに行く約束をし、とても楽しみにしていました。会場では先生方や他の友達も集まっていた、松明を撮りました。火の粉を飛ばしながら燃え感動しました。当日はあいにくの雨。風も強かったのが大変でしたが、来てよかったと思えました。松明は真っ直ぐきれいに立てられ、暗くなるとさらに明るく、だけで元気が出ました。も濡れてしまうほどの大雨でしたが、友達や先生方



吉田の火祭り

## オリエンテーリング感想

薬学部 霜古田紗季子 (和洋九段女子高等学校出身)



入学してすぐ、オリエンテーリングに参加しました。各コンパが2班に分かれ、それぞれのコースでタイムを競い合うことになりました。まだコンパのメンバーとは一度の顔合わせしかしておらず、どう接していいかわからなかったため、みんなで協力して、楽しく行えるか不安でした。名前と顔はわかっていてもまだ一度も話したことがない人もいました。ですが、最初から、みんなで頑張ろうねという声が上がっていて安心しました。また、地図を読むことが多少できる私に地図の読みを任せられました。道に迷わずにみんなを導いて行くことができるか不安でしたが、みんなが間違えてもいいよと言ってきて、緊張することもなく楽しく参加できました。歩いているときも、男子は女子に焦らなくていいよと言い、会話をしながら歩いていました。また、富士山がとてもきれいに見え、写真を撮ることもありました。できれば1位になろうと励ましの声を掛け合って、走ったりしながら最後はみんなでゴールしました。

とても日差しが強く、楽なことではありませんでしたが、大変だったからこそ、ゴールしたときの達成感には心に残るものでした。話したことのない人とも話することができるいい機会でした。そして、結果発表で1位になったときは、コンパ全員で喜び、とても楽しい思い出をつくることができました。

※(注) コンパ/部屋コン: 昭和大学では指導担任制度をいいており、各教員が1グループ16~20名の学生の担任となつてきめ細かい指導をおこなっています。このグループの通称が「コンパ/部屋コン」です。

## 富士吉田での学習について

医学部 武田英明 (慶應義塾高等学校出身)

富士吉田キャンパスの寮生活ではとても充実した経験をする事ができました。授業や部活動、寮祭、クリスマスパーティーなど様々な要素がありますが、その中で富士吉田での学習についてお話ししたいと思います。

### 【試験勉強】

主な試験は前後期の期末試験です。普段の授業から予習復習を欠かさず行い、計画的に試験勉強を行う。というのが理想ですが、本格的な勉強は試験の約2週間前から始め、再試を免れたというのが私の実状です。しかし、短い期間でも、夜更かしを避け健康的な生活を送る、過去問だけに頼ることはしない、暗記は前日の詰め込みではなく反復を心がけるなどの原則を守ったことが効果的でした。

### 【海外プログラム(ポートランド)】

夏季休暇のほとんどはアメリカのポートランドでの海外プログラムに費やしました。大学受験から開放された初めての夏休みは遊びたいという学生が多いのはもったいないですが、大学のプログラムに限らず、海外で生活することを強く薦めます。私はポートランドで、ホームステイ、語学研修、医療施設見学などを経験しました。約1ヶ月の滞在のため、英語が劇的に向上するかはわかりませんが、少なくとも英語学習の必要性を強く感じることができました。また、アメリカ文化や、アメリカの医療システムを知ることもできました。

### 【富士吉田での生活に向けてのアドバイス】

最後に、新入生の皆さんにアドバイスしたいことは、どんなことでも楽しみながら目的意識を持って行動することです。富士吉田での生活には楽しいことが多くありますが、逆にめんどくさい、つまらないと思うこともあるはず。しかし、それらのことをどうせやるのであれば、楽しい要素を見つけ、長期的に自分にとってどう役立てることができるかを考えて行動することで、人間として大きく成長できるはず。皆さんが富士吉田で、楽しく実りある経験ができることを祈っています。

## クリスマスパーティー

後期定期試験・退寮式・完全退寮

12月

## 春休み

1月

2月

2年生へ進級  
旗の台・横浜  
キャンパスへ

3月



クリスマスパーティー



退寮式

## 寮祭・クリスマスパーティーの委員を通じて

医学部 熊川義人 (巣鴨高等学校出身)

僕は寮祭では前・後夜祭部門副部門長、クリスマスパーティー(以下クリバ)では地域交流部門員として参加させていただきました。前・後夜祭部門で担当した主な仕事は前夜祭の内容を決めていくことでしたが、前年度の前夜祭がどのようなものだったか分からなかったため、前夜祭を一から作り上げていくことになり、仕事は思っていた以上に大変でした。また、副部門長というポジションからプレッシャーも感じましたが、部門長をはじめ前・後夜祭部門員が積極的に協力してくれたおかげで、何とか前夜祭を成功させることができました。

クリバの地域交流部門では、地元の支援学校の生徒たちと一緒に、お店の装飾やお菓子の販売をしました。寮生活ではなかなか地元の方々と交流ができなかったため、せっかくの機会だからやってみようかな、と思ったのがきっかけでした。それに加えて、後期の初年次体験実習で支援学校の生徒たちと触れ合ったこともあり、クリバ当日はとても充実した時間を過ごせました。

寮祭やクリバの委員になって、仕事が面倒に感じることもありましたが、やり遂げたときの達成感は何ものにも代えがたいものでした。また、委員の活動を通じて友達もたくさん増え、寮祭やクリバといったイベントに能動的に参加できたことは、貴重な経験になったと思います。

